

2015年度 小林 秀子 氏 ヴィオラ 特別講義

1. 日 時 : 2015年 9月 16日(水) 15時 15分～18時 30分
2. 場 所 : O号館 105 教室
3. 対象学生【必修】 : 大学・短大専攻科・短大 弦楽器 (Vn,Va) 専攻・コース  
他専攻聴講可 (学内のみ)
4. 講 師 紹 介 : 小林 秀子 氏

東京都出身の小林秀子は、桐朋学園音楽大学でヴァイオリンを久保田良作、石井志都子氏に師事し、卒業後ヴィオラの演奏への関心を抱きドイツのケルン音楽大学にてライナー・モークに師事し同大学を首席で卒業。数々の国際コンクールにて賞を得て、ソナーレカルテットのヴィオラ奏者として活動しながら1989年ミュンヘン国際コンクールにて最高賞を受賞。その後ドイツのマンハイム音楽大学のヴィオラ教授として招聘され現在に至りドイツ、韓国、イタリア、フランス、ヴェネズエラ等のマスターコースの講師として後進の指導を行っている。

ソリスト、室内楽奏者と活躍している小林にドイツの作曲家ゲルハルト・シュテテプラーから彼女に委託された作品、「ヴィオラとオーケストラのためのノートブック」を2004年に初演。2007年にはニコラウス・A・フーバーからも「ヴィオラソロの為のEN」という作品を初演し絶賛される。またCD録音はM.レーガーの3つの無伴奏組曲とバッハ/コダーイによるヴィオラの為のクロマティックファンタジー、2011年にはキララホールにて録音したヒンデミットの3つのヴィオラとピアノの為のソナタをオクタヴィアレコードより発売。

5. 講 義 概 要 : ヴィオラ・レッスンとオーケストラ・レパートリー

15:15-16:00

◆弘田 紗千 (学3)

ピアノ伴奏:長谷川 恵理(学3)

C. D. v. ディッターズドルフ

ヴィオラソナタ 変ホ長調 より 第1楽章

16:00-18:30

◆大学「オーケストラIV」履修学生による楽曲分析とその演奏法

L. v. ベートーヴェン

交響曲譜第9番 ニ短調 作品125「合唱付」